科目名	建築構造力学皿 Building Structural Mechanics III													
科目名(英)	В	uilding S	Struc	tural	Mechanics	Ш								
単位数		2 単	单位		時	間数	308	寺間	担当者	ī	古賀 俊光			
実施年度		2020)年度	ŧ	実施	も時期	前	期	担当者実務紀		:計事務所にて ミデザインに従事			
対象学科・学年	3	建築CAD	科	・ イ:	ンテリアデサ	・イン科・	建築学科(配)2年 强		年				
授業概要	13	ニ基礎知 D性質、記	識の 許容	習得応力	を目的とす。 度設計の考	る。構造力 え方、断 <mark></mark>	」学Ⅲでは、オ	「静定構造を こついて学び	対象として、応 、不静定梁の	カ度・ひずみ	を計算できるよう か度の算定、材料 面力算定、たわみ			
授業形式	講	義: ()	演	習: △	実習:	実	 技:	※ 主た	:る方法:〇	その他:△			
	言語 情報	知的 運動 技能	態度意欲	その他			l	目標	<u> </u>					
	0	0			断面一次モ	ーメント・	図心を算出す	けることができ	きる。					
学習目標	0	0					断面係数を算	出することか	ヾできる。					
(到達目標)	0	0					とが出来る。							
	0	0					することが出							
	0	0	○ 梁の変形についての算出することが出来る。											
テキスト・教材 参考図書	亨	芸出版社 図説 やさしい構造力学												
	回数				授業	項目•内?	容			授業外学修	指示			
	1	断面の	性質	(1)世	新面一次モ-	ーメント・[図心							
	2	断面の	性質	(2) 選	「面二次モー	-メント・断	面係数		教科書の該当範	囲を事前に読ん	んでおくこと			
	3	応力度	(1)	軸応に	カ度 カ度				教科書の該当範	囲を事前に読ん	んでおくこと			
	4	応力度	(2)	曲げん	 芯力度				教科書の該当範	囲を事前に読ん	んでおくこと			
	5	応力度	(3)						教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと					
	6	座屈∙確	認該	 試験					教科書の該当範	囲を事前に読ん	んでおくこと			
	7	梁の変	形						教科書の該当範	囲を事前に読ん	んでおくこと			
授業計画				とは.	剛比の計算				教科書の該当範	囲を事前に読ん	んでおくこと			
									教科書の該当範	囲を事前に読ん	んでおくこと			
		確認試験			(1) [1] [1]	7 - 7 7.	, , , , , , ,		教科書の該当範	囲を事前に読ん	んでおくこと			
		多層ラー			: † 1				教科書の該当範	通を事前に読ん	んでおくこと			
		弾性と		07110	,,,,				教科書の該当範	囲を事前に読ん	んでおくこと			
				√ `, L	 、崩壊荷重				教科書の該当範	通を事前に読ん	んでおくこと			
					、朋塚刊里)崩壊と保有	ᆉᅲᆉ			教科書の該当範	囲を事前に読ん	 んでおくこと			
		力学皿(小十両刀			授業内容に係る	確認テストを実	施するので、復習して			
	(1)元 (3)宿	と期試験 宮題を実	(筆 施す	記)を る。」	実施する。 実施する。 以上を下記 <i>の</i>	り観点・割	合で評価する	00	おくこと 中で小テストを 点以上)・D(59		- -る。			
					ī	語情報	知的技能	運動技能	態度•意欲	その他	評価割合			
		定	期詞	t験		0	0				60%			
評価方法		/]	・テク	ベト		0	0				20%			
	宿題・レポート ○ ◎ 20%										20%			
履修上の注意	出	出席が10	回に	満た	 ない場合は	、定期試寫	│ 澰の受験資格	 を与えない。			1			

科目名		3D	CAE	II										
科目名(英)		3DCAD 4単位 時間数 60時間 担当者 山﨑 孝												
単位数			4単位			時間数	60	時間	担当者	Щ	﨑 孝			
実施年度		:	2020年	度		実施時期	育	前期	実務家教, 担当科目					
対象学科·学年		建築	[工学科	43年			•							
授業概要		デル	(3階建	ビル)は	平面	図・立面図・腿	新面図・パー		ころに特徴が など全てが連 を修得する。					
授業形式	講	義:		演習	: () 実習:	実	技:	※ 主たる	方法:〇	その他:△			
学習目標(到達目標)	回数			Ar E 製 製 製 FT Arch	ジュア 図の基 図の基 Mi Cad	ル表現におけ 基本に則して対 基本に則して対 基本に則して対 I-(Magic1・2) 受業項目・内:	るイメージの。 建築物の配置 建築物の断面 建築物の完成 +オリジナル	図及び平面図 図及び立面図 予想図(パース 資料	現方法を2D・3I を作図すること を作図すること (人)を作図すること (人)を作図すること (長素後、様返しの様	ができる。 ができる。 ことができる。 き業外学修指 習を推奨する。				
	2 3 4 5	3 ArchiCadの画面構成説明とツールボックス練習後3階建ビルをArchiCad練習 課題は次の授業までに終わらせること。 4 ArchiCadの画面構成説明とツールボックス練習後4階建ビルをArchiCad練習 課題は次の授業までに終わらせること。 5 3階建ビルをArchiCadで仕上げ練習(通り芯・フロア設定・敷地・柱・梁・壁をかこう 課題は次の授業までに終わらせること。 課題は次の授業までに終わらせること。												
	6 7 8 9	5 3階建ビルをArchiCadで仕上げ練習(通り芯・フロア設定・敷地・柱・梁・壁をかこう 調題は次の授業までに終わらせること。 4階建ビルをArchiCadで仕上げ練習(通り芯・フロア設定・敷地・柱・梁・壁をかこう) 探乗後、論返しの練習を推奨する。 調題は次の授業までに終わらせること。 7 3階建ビルをArchiCadで仕上げ練習(建具・窓・床・階段をかこう) 探乗後、論返しの練習を推奨する。 調題は次の授業までに終わらせること。 8 4階建ビルをArchiCadで仕上げ練習(建具・窓・床・階段をかこう) 探乗後、論返しの練習を推奨する。 調題は次の授業までに終わらせること。 1 授業後、論返しの練習を推奨する。 課題は次の授業までに終わらせること。												
	10 11 12 13	3階至	韭ビルをAi 韭ビルをA	rchiCadでも rchiCadで	土上げ級	練習(2階にテープ 集習(1階カフェが 練習(1階カフェか 東習(3階が完成し	階を仕上げる) 4階を仕上げる)	授業後、総返しの経営を推奨する。 課題は次の授業までに終わらせること。 授業後、総返しの経営を推奨する。 課題は次の授業までに終わらせること。 授業後、総返しの経営を推奨する。 計量性、参逐しの経営を推奨する。						
授業計画		3階至	建ビルをΑι	rchiCadで作	土上げ級	東習(4階が完成し 東習(ビュー登録で 棟習(ビュー登録で	全景パースと室	内パース仕上)	授業飲・輸送しの練習を推奨する。 課題は次の授業までに終わらせること。 授業飲・練返しの練習を推奨する。 課題は次の授業までに終わらせること。 授業飲、練返しの練習を推奨する。 課題は次の授業でに保持ららせること。					
	17 18	3階至 4階至	≢ビルをA ≢ビルをA	rchiCadで rchiCadで	仕上げ組	棟習(ビュー登録で 棟習(ビュー登録で 棟習(プレゼンボ	で平面図・立面図で平面図・立面図	可·断面図仕上) 可·断面図仕上)	授業後、繰返しの制 課題は次の授業ま 授業後、繰返しの制 課題は次の授業ま 授業後、繰返しの制 課題は次の授業ま	習を推奨する。 でに終わらせること。 習を推奨する。 でに終わらせること。 でに終わらせること。				
		3階延	建ビルをM	lagic3で町	並み仕.	上練習(外部図配 上練習(外部図配 :上練習(ビュー登	面で都市レイアウ	トで背景仕上)	授業後、繰返しの制 課題は次の授業ま 授業後、繰返しの制 課題は次の授業ま 授業後、繰返しの制 課題は次の授業ま 授業後、繰返しの制 課題は次の授業ま	でに終わらせること。 習を推奨する。 でに終わらせること。 習を推奨する。 でに終わらせること。				
		3階至	建ビルをMa	agic2で町並	をみ仕上	上上練習(ビュー会 練習(ビュー登録) 上練習(ビュー登録	で平面図・立面図	・断面図仕上)	課題は次の授業ま 授業後、繰返しの制 課題は次の授業ま 授業後、繰返しの制 課題は次の授業ま	でに終わらせること。 習を推奨する。 でに終わらせること。 習を推奨する。 でに終わらせること。				
		3階延	韭ビルをMa	agic2で町立	をみ仕上	上練習(ビュー登録 練習(プレゼンボ 練習(プレゼンボ	ード2種提出評価	後フライスルー)	授業後、繰返しの制課題は次の授業ま 授業後、繰返しの制課題は次の授業ま 授業後、繰返しの制課題は次の授業ま 授業後、繰返しの制課題は次の授業ま	でに終わらせること。 「習を推奨する。 でに終わらせること。 「習を推奨する。 でに終わらせること。				
	30	3階延	韭ビルをM	agic2で町式	並み仕上	上練習(プレゼンオ	∜−ド3種提出評値	5後フライスルー)	授業後、繰返しの総課題は次の授業ま 授業後、繰返しの総課題は次の授業ま	でに終わらせること。				
			の提出 価基準					i・割合で評値)点以上)・C 運動技能	話する。 (60点以上)・ 態度・意欲	D(59点以下 その他)とする。			
評価方法	-			前半課題 後半課題			© ©				50% 50%			
国在しの決 を		ш #	F(m) ***-4	〈極樂厅	***	2 /21-:#+	たい担合 は	恒中作河口	関係か/当り	たたラナン				
履修上の注意		山岸	・山剱カ	'扙耒민	蚁();	と/びに満た	ない場合は.	.	関係なく単位	とさせるない				

科目名													
		.1											
科目名(英)	Architectural planning and	_	000+88	10 dy +v		Д Б 1-	≠ -						
— 単位数 —————		引数	30時間	担当者		今泉 清	· 						
実施年度 ————	2020年度 実施	時期	前期	担当者実務網	圣験								
対象学科・学年	建築工学科 3年												
授業概要	建築計画の知識をより広範う役割は多様である。そのかか、あるいは実施される可能り返り、それらが現代社会にり、都市計画制度、都市・都の豊富な事例を紹介する。	ため、過去・現 能性があるか こどのように原 3市計画史に	見在・未来それ 、各自で思考 展開できるかる ついて学ぶ。	ιぞれどのよう きを深める必 を考察するこう まちを歩く人(うな都市計画を 要がある。例え とが望ましい。 の視線で都市	やまちづくりた Lば、地域や 主に都市デ	が実施されてきた 都市の歴史を振 ザイン、まちづく						
授業形式	講義: 〇 演習:	実習:	実	技:	※ 主た	:る方法:〇	その他:△						
	言語 知的 運動 態度 情報 技能 技能 意欲 その他		'	目標	i								
		画とは何かを											
学習目標 (到達目標)	○ ○ 既存の都市計画を調査・研究している ○ ○ 都市計画各論の知識の習得とともに、これからの社会情勢に応じた都市計画を模索する意志を有す												
(判廷日保/	→ 一 都市計画各論の知識の習得とともに、これからの社会情勢に応じた都市計画を模索する意志を有す												
テキスト・教材 参考図書				ガイダンス初	 めて建築を学	人のたに、コ	ンパクト建築設						
	回数	受業項目•内容	 容			授業外学修	 指示						
	1 第1章 建築と都市のデサ	・イン											
	2 第2章 地域・地区のデザ	イン			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと								
	3 第3章 風景のデザイン			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと									
	4 第4章 まちづくりと市民参				教科書の該当範	囲を事前に読ん	しでおくこと						
	5 第5章 景観まちづくり				教科書の該当範	囲を事前に読ん	しでおくこと						
	6 第6章 地域資源を活かし	たまちづくり			教科書の該当範	通を事前に読ん	しでおくこと						
	7 第7章 防災まちづくり				教科書の該当範 る。	通を事前に読ん	しでおくこと 復習す						
授業計画	8 第8章 交通と福祉のまち	づくり			る。 教科書の該当範	5囲を事前に読ん	しでおくこと						
	9 第9章 都市計画法とマス	タープラン			教科書の該当範	5囲を事前に読ん	しでおくこと						
	10 第10章 土地利用計画				教科書の該当範	通を事前に読ん	しでおくこと						
	11 第11章 都市施設の計画				教科書の該当範	題を事前に読ん	しでおくこと						
	12 第12章 市街地開発事業				教科書の該当範	囲を事前に読ん	しでおくこと						
	13 第13章 歴史の都市、都市 13 第13章 歴史の都市、都市	 市の歴史			教科書の該当範	囲を事前に読ん	しでおくこと 復習し						
	14 第14章 近代都市計画思	 潮				囲を事前に読ん	しでおくこと 復習し						
	15 第15章 都市計画の歩み						しでおくこと 期末試						
	講義中の課題講評プレゼンテ 以上を下記の観点・ 成績評価基準は、S(90点以上	割合で評価で	する。		果等により総	合的に評価で							
		言語情報	知的技能	運動技能	態度•意欲	その他	評価割合						
	定期試験	0	0				80%						
評価方法	ー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	© O	© ©				10%						
	1日 返・レハート						I U70						
履修上の注意	出席率60%が単位付与の約	条件とす。											

科目名	3	建築加	徳コ	СШ	•									
科目名(英)														
単位数		2直	単位			時間数	301	時間	担当者		吉村 尚			
実施年度		2020	0年度	ŧ	5	実施時期	前	前期	実務家教員 担当科目	l				
対象学科・学年	3	建築工学	'科	3年						·				
授業概要	=	上工・地美	業工業	事の種	責算を理例		する 責算を理解する	3						
授業形式	講	義: (0	演	習: △	」 実習:	実	技:	※ 主た	る方法:〇	その他:△			
	言語 情報	知的 運動技能 技能	態度意欲	その他	積算の概	既要を理解し	、説明すること	目標 とができる。						
学習目標	Г	0			土工·地	業工事の積	算を理解し、数	数量を拾うこと	:ができる。					
(到達目標)		0			コンクリー	トの積算を	理解し、数量	を拾うことがて	ごきる 。					
		0			型枠の積	賃算を理解し.	、数量を拾うこ	ことができる。						
	L	0	鉄筋の積算を理解し、数量を拾うことができる。											
テキスト・教材 参考図書	†	刃めての	めての建築積算で芸出版社											
	回数				技	受業項目•内	容			授業外学修	指示			
	1	積算の概	既要	積算(の種類・エ	事費の構成・	積算方式·数量	世の計算	教科書の該当範	囲を事前に読	んでおくこと			
	2	土工の数	』量・演	習差	と 礎知識を	学ぶ・積算の区2	分と秩序・設計例	J•演習	教科書の該当範	囲を事前に読	んでおくこと			
	3	地業の数	汝量•∶	演習	基礎知識	を学ぶ・設計値	列·演習		教科書の該当範	囲を事前に読	んでおくこと			
	4	鉄筋コン	クリー	ート造	の積算 基	基礎知識を学る	ぶ・積算の区分	と秩序	教科書の該当範	教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと				
	5	鉄筋コンクリート造の積算 基礎知識を学ぶ・積算の区分と秩序 教科書の該当範囲を事前に読んでおくこる コンクリートの数量演習① コンクリートの数量演習基礎・基礎梁・柱 教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと												
	6	コンクリ-	ートの	数量	演習② コ	ーーーー Iンクリートの数		版∙階段	教科書の該当範	囲を事前に読	んでおくこと			
let alls = l	7	コンクリー	ートの	数量	演習③ □	ー レクリートの数		を基に演算	教科書の該当範	囲を事前に読	んでおくこと			
授業計画	8	確認テス	くト 全	きまで	の知識の	理解度を確認	土工・地業工	事	今までの内容を	復習しておく				
	9	型枠の数	数量 演	實1	型枠の数	数量演習基礎:	·基礎梁		教科書の該当範	囲を事前に読	んでおくこと			
	10	型枠の数	数量 演	實2	型枠の数	数量演習柱•床	₹・梁・階段		教科書の該当範	囲を事前に読	んでおくこと			
	11	型枠の数	数量 演	實習③	型枠の数	数量演習設計	例を基に演算		教科書の該当範	囲を事前に読	んでおくこと			
	12	鉄筋の数	效量σ)積算	演習① 基	基礎知識を学ん	ぶ・設計例・演習	프 필 글	教科書の該当範	囲を事前に読	んでおくこと			
	13	鉄筋の数	效量σ)積算	演習② 釒	鉄筋の数量演	習 基礎·基礎	梁∙柱∙床	教科書の該当範	囲を事前に読	んでおくこと			
	14	確認テス	< <u> </u>	うまで	の知識の	理解度を確認	コンクリート・	 型枠	今までの内容を	復習しておく				
	15	まとめと	≤試懸	負ガイ	ダンス				今までの内容を	復習しておく				
	以」	Lを下記	の観	点:害	副合で評価	西する。		(筆記)を実施 以上)・C(60点	iする。 ī以上)・D(59,	点以下)とす	る。			
						言語情報	知的技能	運動技能	態度·意欲	その他	評価割合			
		-				0	0				90%			
評価方法	\vdash	/]	トテス	< -		0	0				10%			
	⊢													
	H													
履修上の注意	_ -	 出席が10	回(こ	満た	ない場合	は、定期試験	験の受験資格	<u></u> を与えない。						

科目名	7	就職実務ⅡA												
科目名(英)	E	mploym	ent p	oracti	ces II A									
単位数		2	単位			時間数	308	時間	担当者	2	トクラス担任			
実施年度		202	0年月	隻	5	実施時期	前	ī期	担当者実務紹	験				
対象学科・学年	廷	建築CAE)科	・イン	ンテリアテ	· ザイン科 ·	建築学科(昼)2年 	 築工学科 3억	<u> </u>				
授業概要						を備えた人 成や履歴書		、社会人にな	なる上でのスキ	·ルを身につ	ける。			
授業形式	講	義:	0	演	習:	実習:	実	 技:	※ 主た	る方法:〇	その他:△			
	言語 情報	知的 運動技能 技能						目標						
	0	0			就職活重	かにおける企	業研究が行う	うことができる	1					
学習目標	0	0				「を行うことか								
(到達目標)	0	0			作品集を	作成し就職	活動ができる							
	H													
テキスト・教材 参考図書	京	就職活動ガイドブック												
	回数				授	髪業項目・内容	容		:	授業外学修	指示			
	1	履歴書	の書	き方										
	2	受験企	業の	研究	し求人を持	探しリストアッ	ップ							
	3	自己分	析作	成と何	作品集ブ -	ラッシュアップ	_ື							
	4	志望理由チェックと作品集ブラッシュアップ												
	5	就職活	動ス	ケジニ	ュールを制	训作								
	6	就職活	動状	況の	——— 共有									
	7	ポートフ	フォリ	オの:	 ブラッシュ	 .アップ								
授業計画	8	対象企	業を	意識し	た面接約	 棟習								
	9						 プディスカッシ	 /ョン)						
	10	受験企	業の	研究	 し求人を打	 探しリストアッ	 ソプ							
	11	自己分	· 析や	志望	理由チェ [、]	 ック								
	12	就職活	動状	況の	——— 共有									
	13	求人情	報の	集め:	方や、管理	 理の仕方								
	14	対象企	業を	意識し	した面接約	 東習								
	_				ュールを制									
	(1)	受講態	度∙意	意欲	(2)課題(の提出 以上	この内容を総合	今的に判断し	· R評価(可、2	下可)で判断	する。			
						言語情報	知的技能	運動技能	態度•意欲	その他	評価割合			
=== P== === >==	_			*意欲	欠	0	0				30%			
評価方法		課	題の	徒出		0	0				70%			
履修上の注意	6	0%出席	を単	位付	与条件と	する			•		•			

科目名	Photoshop • Illustrator III														
科目名(英)	F	hotos	shop	Illus	trato	- 3									
単位数			2単	位		時	間数	308	寺間	担当者		原 将史			
実施年度		20)20 <i>4</i>	年度		実施	時期	前	期	担当者実務終	圣験				
対象学科•学年	-	インテ	リア	デザ	イン科	・ 建築	学科(昼)2年 3	建築工学科;	3年					
授業概要										やレイアウト - vの手法を身		本を学ぶ			
授業形式	講	義:		;	演習:	0	実習:	実	 技:	※ 主た	る方法:〇	その他:△			
	言語 情報			態度 意欲 その	の他				目標						
		0						能を踏まえた							
学習目標 (到達目標)		0				•				フィックの加工					
【到建日保 <i>)</i> 		0			Ph	otoshop ·	- Illustrat	or のデータ	寺性を理解し	たイメージボー	ードのレイアワ	けんが作成できる			
 テキスト・教材															
参考図書	†	青報リ	報リテラシー Office2016												
	回数					授業	項目•内			:	授業外学修	指示			
	1	Illustr	rator	Pho	otosh	op を連携	したワー	ク(復習課題	への取組み)	Illustrator , Pho	toshop のインス	トール			
	2	Phot	osho	op (5	よるノ	パース作品	成 レイ	ヤー各種機能	能	授業内で完了し	なかった作業を	完了させておくこと			
	3	Phot	osho	op (=	よるノ	パース作品	成 フィル	ルター、パタ-	 -ン、他	授業内で完了し	なかった作業を	完了させておくこと			
	4	Phot	osho	opla	よる施	設建築0)パース(内観)作成		授業内で完了し	なかった作業を	完了させておくこと			
	5	Phot	osho	opla	よる施	:設建築0)パース(外観)作成		授業内で完了しなかった作業を完了させておくこと					
	6	施設	建築	きのバ	パース	(外観)作	成~ 綜	!画風加工パ	一ス作成	授業内で完了し	なかった作業を	完了させておくこと			
	7	建築	施設	とのバ	パース	(線画風)	加工)の作	 作成		授業内で完了し	なかった作業を	完了させておくこと			
授業計画	8	Illusti	rato	r を月	用いた	レイアウ	トの基本 [・]	 デザイン 練	習①	授業内で完了し	なかった作業を	完了させておくこと			
	9	Illusti	rato	r を月	用いた	レイアウ	ーーートの基本・	 デザイン 練	習②	授業内で完了し	なかった作業を	完了させておくこと			
	10	有名	建築	きをテ	ーマ	としたレイ	アウトボ・	ー ードのデザイ	ン①	授業内で完了し	なかった作業を	完了させておくこと			
	11	有名	建築	きをテ	ーマ	としたレイ	アウトボ・	 ―ドのデザイ	ン①~②	授業内で完了し	なかった作業を	完了させておくこと			
	12	有名	建築	きをテ	ーマ	としたレイ	アウトボ・	 ードのデザイ	ン②	授業内で完了し	なかった作業を	完了させておくこと			
	13	建築	イメ	ージ፣	ボード	の練習作	■ - 本		~~	授業内で完了し	なかった作業を	完了させておくこと			
								2置写真加工		授業内で完了し	なかった作業を	完了させておくこと			
	15	建築	イメ	ージ፣	ボード	の練習作	■ タ	イトル・テキン	スト処理~						
										上 提出により評	·/==				
										提出により計 60点以上)・D					
						言	語情報	知的技能	運動技能	態度•意欲	その他	評価割合			
		各		-マ調	題			0				80%			
評価方法	宿題 O 2										20%				
	-														
履修上の注意	È	単位付	与	こは、	規定	の授業回]数の2/	′3以上の出』	席を必要条件	すとする。					

科目名(英) 単位数 実施年度 対象学科・学年 授業概要	4単位 2020年度 建築工学科 3	L DESIGN DRAWI 時間数 実施時期		<u></u>	to w 李	_								
単位数 実施年度 対象学科·学年	4単位 2020年度 建築工学科 3	時間数		<u></u> 時間	和业本									
実施年度 対象学科・学年	建築工学科 3	4単位 時間数 60時間 担当者 中島 潤												
対象学科・学年	建築工学科 3	天爬时期	- 											
			H.	刊	担当科目									
授業概要		年												
	2級建築士2次対	策レベルに関する	木造建築構造	きの基礎知識	ぱから応用を身	身に着ける。								
授業形式 講	義: 演	習: 〇 実習]: 実	技:	※ 主た	る方法:〇	その他:△							
言語				目標	*									
	0	方眼紙を読む力が				きる。								
学習目標 <u></u> (到達目標)	0	木造建築の課題(各構造の矩計図、				h Z								
	0	建築士2次試験問				いる。								
_		是未工E外間4月	INSI C PA DI OICE	лы стыто	<u> </u>									
テキスト・教材	40 A **** In _ 47 74	- ATT 1 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 -	- 1: - 1											
参考図書	総合資格 2級建	築士 設計製図	テキスト											
1	各種図面につい	て断面図について	•		前回学習したこ	とを復習する								
2	共通項目 設計	製図試験の概要 詰	試験の制度 特	徴とポイント	前回学習したこ	とを復習する								
_	共通項目 設計	製図試験の概要	不合格の図面	<u>とは</u>	自己採点表を配布	事前に確認させ、	減点項目を知っておく。							
<u> </u>	3 共通項目 設計製図試験の概要 受験の心得え 出題傾向 試験当時配布プリントを配布確認													
4	4 / 本方口 乳乳制団計除の推西 15年の山野協力 喜齢者に向けた対応を調べさせる													
5	5 NEXT ENTREMENT													
6	共通項目 製図を始める前に 製図用具、用紙のセットのしかた テキストを忘れないように													
7	共通項目 製図	を始める前に(ビ	デオ)様々な表	現	表現方法テキス	ストで確認								
8	線の種類と用途	. 製図記号 方間	 根紙で練習		表現方法テキス	ストで確認								
l i i		表現 方眼紙で糸			表現方法テキス	ストで確認								
9	京目 凯供继见	等の表現 方眼紙			表現方法テキス	ストで確認								
10		おける関連法規	は、これは		建築基準法法									
11			피뽁扎교니사	☆77 至4. 4白	建 未坐于从丛	11米14.2人作的2								
12	•	住宅 構造計画	配置計画と外	郡 野椒										
13		住宅 平面計画			P At Mr. M. H.	0								
14		住宅 課題文の読			色鉛筆 蛍光ペ									
15		住宅 ケーススタラ		進め方	前回学習したこ									
		住宅 構造計画	配置計画と外	部動線	前回学習したこ	とを復習する								
	木造 木造併用				前回学習したこ	とを復習する								
18	木造 木造併用	住宅課題文の読み	が取り、		前回学習したこ	とを復習する								
19	木造 木造併用	住宅 ケーススタラ	ディ エスキスの	進め方	前回学習したこ	とを復習する								
20	木造 要求図面	要求図面の描き	方		テキスト熟読す	る								
21	木造 要求図面	1階平面図兼配置	置図と2階平面図	×	テキスト巻末に	ある答案例確認	し表現補法確認する							
22	木造 要求図面	立面図			テキスト巻末に	ある答案例確認	し表現補法確認する							
23	十生 西北回去	断面図			テキスト巻末に	ある答案例確認	し表現補法確認する							
24	十 生 亜	2階床伏せ図兼1	階小屋伏せ図		テキスト巻末に	ある答案例確認	し表現補法確認する							
25	十 生 画	部分詳細図			テキスト巻末に	ある答案例確認	し表現補法確認する							
26	プレート 2000年11日本		つせ ポイントラ	イン引き	テキスト巻末課	題準備								
	チャレンジ課題		,		テキスト巻末課	題準備								
_	ナ・1 > パー田 日本 /				テキスト巻末課									
28	チャレンジ課題				テキスト巻末課									
	エレンが細胞が				解説復習	200								
30	リアレンノ味趣	开机 捐权共有												
)課題の発表 以上 (90点以上)・A(80				(59点以下)	とする。							
		言語情報	報 知的技能	運動技能	態度·意欲	その他	評価割合							
評価方法	練習課題		0				30%							
大阪に	チャレンジ課題	11	0				70%							
履修上の注意	出席率60% 未	満者 単位付与した	ない。											

科目名	専項	女ゼミ	(住宅	≧) I (必	修選択)									
科目名(英)				-1			ton its de							
単位数		単位		時間數		時間	担当者		今泉清太					
実施年度		20年度	0/5	実施時期	F	前期	担当科目	`						
対象学科・学年	建架.	工学科	3#											
授業概要				築物の分析・ 養う。※パワー		, 自分なりの住 いる	宅設計プロイ	2スを組み立	て、プレゼン					
授業形式	講義:		1	〇 実習:	実		※ 主た	る方法:〇	その他:△					
	言語 知的 選訴情報 技能 技能	計 態度 その		元に問題点、	課題占の押	目標 握できる								
学習目標	0					流れまで一通り	理解できる							
(到達目標)	0		_			を分析すること								
	0		が正のとこ	とてた圧七姓	未成別のプレ	ED / 232	n. ce.a							
テキスト・教材 参考図書	オリシ	ジナルプロ	リント											
97DE	回数			授業項目·F	内容			授業外学修	指示					
	1 É	己紹介	、オリエ	ンテーション「		える」								
	2 3	題1一①	【スクラッ	プブックをつくる	】美しい(好き)	(3) 建築を集める								
						な)建築を考える								
				(スカッション										
				1/1///	姓未大 [5]因	נאריטיו								
		限題1の作												
	_	分析・調												
	-			次課題の説明 	1									
	_													
	10													
	11-12	課題2の作	作り直し											
	13 📱	分析・₽	再評価											
	14 🗗	分析・₮	再評価、2	次課題の説明	1									
	15	課題3 有	i名建築((戸建て住宅)	に学び、考え	.る								
		1960年	F代の日	本の代表的な	住宅に関す	る分析と考察								
	16	発表と認	講評、ディ	ィスカッション	「建築の評価	J								
	17-18	課題3の作	乍り直し											
	19 🗗	分析・₽	再評価											
	20 📱	分析・₮	再評価、2	次課題の説明	1									
	21	果題4 有	「名建築	(戸建て住宅)	に学び、考え	.3								
				本の代表的な										
授業計画			評、 ァ≀ め方) I		! 建栄ナザイ.	ンを学ぶ(建築			未完の作業が 作業を終えてお					
	23-24	課題4の作	作り直し				くこと							
	25 🗗	分析・₽	再評価											
				次課題の説明										
	27-28			(戸建て住宅)										
	2			本の代表的なスカッション「										
	29 計	計の進	め方)Ⅱ		生来ノッコン	とテか(姓来								
		課題5の作												
		分析・₮		m										
				次課題の説明										
	34			(戸建て住宅)										
	\sqcup			本の代表的な										
	35 (ディスカッショ 方)Ⅲ 」	ノ・廷栄アち	コンど子か								
							1							
	36-37	果題6の作	作り直し											
	38 月	果題6の作 事分析・再	作り直し 再評価 2	次課題の説明										
	38 月	県題6の作 算分析・₽ 駅題7 有	作り直し 再評価 2 「名建築)	(戸建て住宅)	に学び、考え									
	38	課題6の作 事分析・事 課題7 有 2000年	作り直し 再評価 ? 「名建築・ F代の日	(戸建て住宅)	に学び、考え	る分析と考察								
	38 早 39 40 第	課題6の作 第分析・再 課題7 有 2000年 き表と講演 き計の進	作り直し 再評価 ? 「名建築・ 「名建築・ 「子へ」 「アイン」 「アイン」 「アイン」 「アイン」 「アイン」 「アイン」	(戸建て住宅) 本の代表的な スカッション 「!	に学び、考え	る分析と考察								
	38 早 39 40 第	課題6の作 す分析・車 課題7 有 2000年 表と講	作り直し 再評価 ? 「名建築・ 「名建築・ 「子へ」 「アイン」 「アイン」 「アイン」 「アイン」 「アイン」 「アイン」	(戸建て住宅) 本の代表的な スカッション 「!	に学び、考え	る分析と考察								
	38 月 39 部 40 季記 41-42 部 43 月	課題6の作 事分析・₹ 課題7 有 2000年 き表と講進 課題6の作 事分析・₹	作り直し 再評価 ? 「名建築・ 「名建築・ 「代の日 「アント」」 「作り直し 再評価、?	(戸建て住宅) 本の代表的なスカッション「!	に学び、考えな住宅に関する 建築デザイン	る分析と考察								
	38 早 39 40 41 43 早 44 部	果題6の作 事分析・早 果題7 有 2000年 き表と講進 計の進 果題6の作 事分析・早 果題7 建	作り直し 再評価 ? 「名建築 (日で)」 「名建築 (日で)」 「おり直し ? 「ない」 ないます。 「はいます。」 「はいます。 「はれます。 「はれままままま。 「はれまままままままま。 「はれままままま。 「はれまままままま。 「はれまままままままままままままままままままままままままままままままままままま	(戸建て住宅) 本の代表的な スカッション「!	に学び、考えな住宅に関する 建築デザイン	る分析と考察								
	38 早 39 40 41 43 早 44 部	課題6の作 事分析・₹ 課題7 有 2000年 き表と講進 課題6の作 事分析・₹	作り直し 再評価 ? 「名建築 (日で)」 「名建築 (日で)」 「おり直し ? 「ない」 ないます。 「はいます。」 「はいます。 「はれます。 「はれままままま。 「はれまままままままま。 「はれままままま。 「はれまままままま。 「はれまままままままままままままままままままままままままままままままままままま	(戸建て住宅) 本の代表的なスカッション「!	に学び、考えな住宅に関する 建築デザイン	る分析と考察								
	38 早 39 部 40 季讀 41-42 部 44 部 45 季	果題6の作 事分析・平 果題7 有 2000年 き表と講進 果題6の作 事分析・平 事分析・平 最初の 事を表します。 まとはませる。 まとはなる。 まとなる。	下り直し 再評価 注 「名建築 日 「名建築 日 「イバット」 下 大 方 が し 再評価 、 注 乗設計((戸建て住宅) 本の代表的なスカッション「! スカッション「! フ 大課題の説明 の進め方	に学び、考えな住宅に関す は住宅に関す 建築デザイン	る分析と考察	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	容の整合性)(こより評価する。					
	38 早 39 部 40 季讀 41-42 部 44 部 45 季	果題6の作 事分析・平 果題7 有 2000年 き表と講進 果題6の作 事分析・平 事分析・平 最初の 事を表します。 まとはませる。 まとはなる。 まとなる。	下り直し 再評価 注 「名建築 日 「名建築 日 「イバット」 下 大 方 が し 再評価 、 注 乗設計((戸建て住宅) 本の代表的なスカッション「! スカッション「! フ 大課題の説明 の進め方	に学び、考えない。 住宅に関す 建築デザイン	る分析と考察を学ぶ(建築	回数、意見内態度・意欲	容の整合性)(こより評価する。					
	38	果題6の作 字分析・平 果題7 有 2000年 きま計の進 手分析・平 手分析・平 手がました。 最近 を計画の作 手がました。 を表しまする。 を表しまる。 を表しまる。 を表しまる。 を表しまる。 を表しまる。 を表しまる。 を表しまる。 を表しまる。 を表しまる。 を表しまる。 を表しまる。 を表しまる。 を表しまる。 を表しまる。 を表しまる。 を表しまる。 を表しまる。 を表しまる。 を表しまる。 を表しる。 を、 を、 を、 を、 を、 を、 を、 を、 を、 を、	年り直し 再評価 : 「名建築 日 インIV 年 ド代、デカ IV 年 リー・アン IV 再 評価 : ・ 「 実 設計 ()	(戸建て住宅) 本の代表的な スカッション「! 」 大次課題の説明 の進め方	に学び、考え な住宅に関す 建築デザイン サイスカッション 知的技能 O	る分析と考察 を学ぶ(建築 時の積極性(発言			評価割合 80%					
評価方法	38	果題6の作 す分析・平 果題7 有 2000年 きま計の作 を設計のが・平 乗動7 発 を設計のが・平 乗動7 発 表と講述 提出作品	年り直し 再評価 : 「名建築 日 インIV 年 ド代、デカ IV 年 リー・アン IV 再 評価 : ・ 「 実 設計 ()	(戸建て住宅) 本の代表的な スカッション「! 」 大次課題の説明 の進め方	に学び、考えなは 年 に 関す は 年 に 関す は 葉 デ ザイン は 葉 デ ザイン は 乗 デ イスカッション 知 的 技能	る分析と考察 を学ぶ(建築 時の積極性(発言			評価割合					
	38	果題6の作 字分析・平 果題7 有 2000年 きま計の進 手分析・平 手分析・平 手がました。 最近 を計画の作 手がました。 を表しまする。 を表しまる。 を表しまる。 を表しまる。 を表しまる。 を表しまる。 を表しまる。 を表しまる。 を表しまる。 を表しまる。 を表しまる。 を表しまる。 を表しまる。 を表しまる。 を表しまる。 を表しまる。 を表しまる。 を表しまる。 を表しまる。 を表しまる。 を表しる。 を、 を、 を、 を、 を、 を、 を、 を、 を、 を、	年り直し 再評価 : 「名建築 日 インIV 年 ド代、デカ IV 年 リー・アン IV 再 評価 : ・ 「 実 設計 ()	(戸建て住宅) 本の代表的な スカッション「! 」 大次課題の説明 の進め方	に学び、考え な住宅に関す 建築デザイン サイスカッション 知的技能 O	る分析と考察 を学ぶ(建築 時の積極性(発言			評価割合 80%					
	38	果題6の作 字分析・平 果題7 有 2000年 きま計の進 手分析・平 手分析・平 手がました。 最近 を計画の作 手がました。 を表しまする。 を表しまる。 を表しまる。 を表しまる。 を表しまる。 を表しまる。 を表しまる。 を表しまる。 を表しまる。 を表しまる。 を表しまる。 を表しまる。 を表しまる。 を表しまる。 を表しまる。 を表しまる。 を表しまる。 を表しまる。 を表しまる。 を表しまる。 を表しる。 を、 を、 を、 を、 を、 を、 を、 を、 を、 を、	年り直し 再評価 : 「名建築 日 インIV 年 ド代、デカ IV 年 リー・アン IV 再 評価 : ・ 「 実 設計 ()	(戸建て住宅) 本の代表的な スカッション「! 」 大次課題の説明 の進め方	に学び、考え な住宅に関す 建築デザイン サイスカッション 知的技能 O	る分析と考察 を学ぶ(建築 時の積極性(発言			評価割合 80%					
	38	果題6の作 字分析・平 果題7 有 2000年 きま計の進 手分析・平 手分析・平 手がました。 最近 を計画の作 手がました。 を表しまする。 を表しまる。 を表しまる。 を表しまる。 を表しまる。 を表しまる。 を表しまる。 を表しまる。 を表しまる。 を表しまる。 を表しまる。 を表しまる。 を表しまる。 を表しまる。 を表しまる。 を表しまる。 を表しまる。 を表しまる。 を表しまる。 を表しまる。 を表しる。 を、 を、 を、 を、 を、 を、 を、 を、 を、 を、	年り直し 再評価 : 「名建築 日 インIV 年 ド代、デカ IV 年 リー・アン IV 再 評価 : ・ 「 実 設計 ()	(戸建て住宅) 本の代表的な スカッション「! 」 大次課題の説明 の進め方	に学び、考え な住宅に関す 建築デザイン サイスカッション 知的技能 O	る分析と考察 を学ぶ(建築 時の積極性(発言			評価割合 80%					

科目名		専攻セ	ぎミ(都	市) I (必修	選択)									
科目名(英)		0 M (4		nd HE di.		1+88	40 W 44.		\D #_					
単位数 実施年度		6単位 時間数 90時間 担当者 今泉 清太 2020年度 実施時期 前期 実務家教員 担当料目												
大肥平皮 対象学科·学年		建築工学		天廊时州	HI.	1#3	担当科目							
授業概要		模型を用い	い、実務に	こ近い建築工事を係 図面作成を行い、現	本験し、工事だ場実務にほ	足場計画、掘 ぼ同内容のf	削計画、躯体作業を行う。	工事、内装工	エ事、タイル割付					
授業形式	講義		演習:	〇 実習:	実	技: 目標		:る方法:O	その他:△					
		知的 運動 想法 技能 技能		築現場の実務の網	東習(工事足			事、内装工	事)					
学習目標(到達目標)	-	0 0		工図 実務作業の型の作成を行い、			を実際に作図	図する ロー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・						
テキスト・教材 参考図書		施工図入	門書籍もし	しくは講師オリジナ	ル資料									
	回数			授業項目·内容				授業外学修	指示					
	2			νーション 自己及び 务全般の話(業界の										
	3			* 木造トレースのf			奨業内で紋 子	えられなかっ	た作業は次回る					
	4	1X HEH	性がノヘロ	※現時点での修			でに終えてお		た日本は久国の					
	5	実務に	こおける延	建設業界の一般常	識(木造、RC	造)の話								
	6	木造記	受計につき	きプラン作成、自由	設計		授業内で終えてお		た作業は次回ま					
	7	CAD	東習(便所	f)			授業内で終え でに終えてお		た作業は次回ま					
	8	実務に 積算線		建設業界の一般常	識(積算の仕	組み)の話、								
	0			キプランルの 白由	₹₽.₩ ₩				た作業は次回さ					
	9			きプラン作成、自由	D.K.D.I		でに終えてお		た作業は次回ま					
	10	CAD	東習(1室))	でに終えてお	さくこと	た作業は次回す							
	11	建物(鉄骨)の	模型製作		でに終えてお	3425	た非来は次回す						
	12	実務に	こおける延	建設業界の一般常	識の話									
	13	木造記	2計につき	きプラン作成、自由	設計		授業内で終えてお		た作業は次回ま					
	14	CAD	東習(2室))				えられなかっ	た作業は次回ま					
	15			模型製作			授業内で終え	えられなかっ	た作業は次回ま					
	15						でに終えておくこと							
	16	実務に	こおける強	建設業界の一般常	識の話		授業内で終えられなかった作業は次回る							
	17	木造記	受計につき	きプラン作成、自由	設計		でに終えておくこと 授業内で終えられなかった作業は次回ま							
	18	CAD	東習(3室))			授業内で終えられなかった作業は次回までに終えておくこと 授業内で終えられなかった作業は次回ま							
	19	建物(鉄骨)の	模型製作			授業内で終えてお		た作業は次回ま					
授業計画	20	実務に	こおける顔	建設業界の一般常	識の話									
	21	太浩訓	ひ計につき	きプラン作成、自由	設計		授業内で終えられなかった作業は次回 でに終えておくこと							
		授業内で終えられなかった作業は												
	22								た作業は次回ま					
	23	建物(鉄骨)の	模型制作			でに終えてお		7. IF X 16.7/21 6					
	24	oth Wer 6	± 110	E \$111 (4:14 7 \$4 \$4 / 4	× .□ \ +# =u +u	<i>II</i> =	授業内で終え	えられなかっ	た作業は次回ま					
	25 26	美務総	東首 平原	面割り付け、建物(値)	跌官) 侯空制	17F	でに終えてお							
	27	実務組	東習 立面	面割り付け、建物(値	跌骨)模型制	作	授業内で終えてお		た作業は次回ま					
	29													
	30 31	宝婺组	東習 六元	面割り付け、建物()	木诰) 樺刑制	作			た作業は次回ま					
	31	大仍和	~⊟ 7 @	ロックリンけ、、注例(ク	→座/1天室制		でに終えてお							
	33	仮設言	十画図(平	面)作成、建物(オ	、造)模型制作	* F	授業内で終え でに終えてお		た作業は次回ま					
	35	仮設言	十画図(立	直面)作成、建物(オ	、造)模型制作	*	授業内で終え でに終えてお		た作業は次回ま					
	37	仮設言	十画図(立	直面)作成、建物(鉛	快骨)模型制作	*		えられなかっ	た作業は次回ま					
	39			5加工図の作図 相 5計画図(平面)の		ント説明		えられなかっ	た作業は次回ま					
	41			D鉄筋加工図(平i				えられなかっ	た作業は次回ま					
	43	CAD(矩計図)の)作図 木造設計			授業内で終え	えられなかっ	た作業は次回ま					
	44 でに終えておくこと 45 今期授業のまとめ、復習													
	70	/ 797 T.	~~~~	A RE			I							
	提出	されたノー	トの内容	、施工図(CAD)・枸	模型の完成度	により評価す	たる。							
				言語情報	知的技能	運動技能	態度·意欲	その他	評価割合					
		/-		AT E1 MA LE	0	0			10%					
評価方法		模型完施工			0	0			30% 60%					
		<i></i>	_=						00/0					
						l .								
履修上の注意		出席率609	%が単位	付与条件	l	l			l					

	l _				<u>, </u>	- / >: //-									
科目名	Ę	厚攻 つ	ゼミ	5(方	恒工)	I(必修	選択)								
科目名(英)	В	uilding (struc	tion										
単位数		6単	位			時間数	90	時間	担当者実務家教員		吉村尚				
実施年度		2020	年度	Ę		実施時期	F	前期 ———————	担当科目						
対象学科・学年	建	築工学	料	3年											
授業概要	シ										☑)を理解する。コ 里・環境管理を理				
授業形式	講義			演	習: 4	△ 実習:	実	弦:	1	-る方法:○	その他:△				
学習目標 (到達目標)	0	図的 運動技能	態度意欲	その他	施工図る 工程表。 コンクリ	を読むことが [.] が理解でき、í	でき、簡単な 簡単な工程表 理・品質検査		管理)の知識を できるようにな						
テキスト・教材 参考図書	西西	記布プリ:	ント												
	3	1 2 2													
	9 10 11 12	7 8 施工図③ 足場計画図のトレースの作成 トレース図を提出する 9 10 11 施工図④ コンクリート寸法図について解説する 書き込み内容 プリントの復習をする 12													
	13														
授業計画		拖工図⑦	仕	上図(こついて魚	解説する			プリントの復習	きする					
技术 们凹		施工図⑧) タ-	イル害	図につい	へて解説する			プリントの復習	でする					
		拖工図⑧) タ-	イル害	図のトレ	一スを作成する	3		トレース図を扱	出する					
		コンクリー	-トの	品質	管理・調合	合計画を解説す	する		プリントの復習	?をする 					
		工程管理	∄ À·	ットワ	一ク工程	表・歩掛りにつ	いて解説する		プリントの復習	きする					
	35 36 37				□程表を付				工程表を提出す	⁻ る					
	39 40					工管理の仕事			工程表を提出す						
	42 43					質検査を理解す いて理解する			プリントの復習						
	45									1 C / W					
	以上	を下記の	の観	点:害	合で評	価する。		。(2)宿題の 以上)・C(60点	提出内容 5以上)·D(59	点以下)とす	る。				
		作	品提	出		言語情報	知的技能	運動技能	態度•意欲	その他	評価割合				
評価方法		宿題				0	0				20%				
		, i i i i i													
											1				
履修上の注意	出	出席が10)回(こ満た	こない場	 合は、定期試	験の受験資	 格を与えない。			1				

科目名	卒業制作 I													
科目名(英)	Architectural Diploma design of Housing and Urban Planning majors													
単位数	4単位	時間数	608	寺間	担当者		板野純							
実施年度	2020年度	実施時期	前	·期	実務家教員 担当科目	1								
対象学科·学年	建築工学科 3年					·								
授業概要	専攻ゼミⅡで選択した専門知能 や環境問題、身の回りの課題が 一連の作業が社会で仕事を遂 の意思表現でもあるブレゼンテ 物事の本質に向かう姿勢を大・	など、テーマを自由に設 行する訓練として位置(・ーションにおいては、厳	:定し、それを「建築 付けており、基本的 もしく指導を進める	{」という手段で解: な作業(準備、段	決に向かう一連のf 取り、調査、説明な	作業である。また など)から評価のま	指導に際しては、その 対象とする。また、自分							
授業形式	講義: △ 演習:	〇 実習:	実	技:	※ 主た	る方法:〇	その他:△							
学習目標(到達目標)	○ 建築 ○ 客観 ○ 計画	敷地を定め、周囲環計画を立案し、具体的・多角的な目線で 案について魅力的にの作品に対し、的確	的な設計内容を 計画内容を再枝 こ発表することか	、ダイアグラム	めることができる や図面、模型をf	作成しまとめる。	ことができる。							
テキスト・教材 参考図書	テキスト:なし, 参考図	書:建築設計資	料集成、新殖	墜いまび各	種建築書籍資	資料等								
	型数 授業項目·内容 授業外学修指示													
	1 ガイダンス: 卒業制作の概要と前期作業内容の解説 スケッチブックを常備し、毎日検討を進めること。調査資料、作成3 料はスケッチブックに貼り付け、まとめていくこと。													
	2													
	4 エスキス: アーマ設定(調査資料、作業資料、敷地図面寺による確認) 料はスケッチブックに貼り付け、まとめていてこと。 ち													
	8	定(ダイアグラム、図	面、スタディ模型	皇等による確認)	料はスケッチブックに	貼り付け、まとめて								
	9 発表:取り組む課題とその計画案について発表(PC+プロジェクター/1人5分程度) 講評における評価・指導内容を客観的に見つシュアップにつなげること。													
	11 12 エスキス:計画案設計作業	業(全体設定、詳細語	段計等具体的な	内容確認)	料はスケッチブックに	貼り付け、まとめて								
授業計画	13 エスキス:計画案設計作業	(全体設定、詳細設計	等具体的な内容	確認)	料はスケッチブックに	上貼り付け、まとめて								
	15 エスキス:計画案設計作業	(全体設定、詳細設計	等具体的な内容	確認)	スケッチブックを常備 料はスケッチブックに		ること。調査資料、作成資いくこと。							
	17 発表:計画内容の詳細発	表(PC+プロジェクク	ター/1人5分程	度)	講評における評価・オシュアップにつなげる		見つめ直し、作品のブラッ							
	19 20 エスキス:プレゼンテーション	作業(最終図面、解説	文、解説用図版、	模型等の確認)	スケッチブックを常備料はスケッチブックに		ること。調査資料、作成資いくこと。							
	21 22 22 エスキス:プレゼンテーション	作業(最終図面、解説	文、解説用図版、	模型等の確認)	スケッチブックを常備 料はスケッチブックに		ること。調査資料、作成資 いくこと。							
	23 24 エスキス:プレゼンテーション	作業(最終図面、解説	文、解説用図版、	模型等の確認)	スケッチブックを常備 料はスケッチブックに		ること。調査資料、作成資いくこと。							
	25 26 発表:最終発表(PC+プロ	コジェクター/1人5分	分程度)		講評における評価・持 シュアップにつなげる		見つめ直し、作品のブラッ							
	27 28 最終成果手直し				講評における評価・持 シュアップにつなげる		見つめ直し、作品のブラッ							
	29 30 最終成果手直し+最終提	出			講評における評価・持 シュアップにつなげる		見つめ直し、作品のブラッ							
	課題作品、エスキスチェン 成績評価基準	ック、発表を、下i は、S(90点以上)				E)D(59点り	(下)とする。							
		言語情報	知的技能	運動技能	態度·意欲	その他	評価割合							
	課題作品	0	0				80%							
評価方法	エスキスチェック	0	0				10%							
	発表	0	0				10%							
			-											
履修上の注意	出席が10回に満たない	ハ場合は、定期	試験の受験資	 格を与えな	,\ _o		l							

									林工是未 及 /	7 12 371	111/2 > 27 17				
科目名	数学ゼミⅢA(選択)														
科目名(英)		1単位 時間数 15時間 担当者 吉田 麻美													
単位数		1単	位		瞬	間数	158	寺間	担当者	큳	田 麻美				
実施年度		2020	年度	Ę	実	施時期	前	期	担当者実務経	験					
対象学科·学年	建築	工学	科 3	3年											
授業概要	建築(の各 [:]	学科	におい	いて必要と	される、基	礎的な数学ス	スキルの復習	と習熟を目指す	ţ					
授業形式	講義:	Δ	Δ	演習	i: 0	実習:	実	技:	※ 主た	る方法:〇	その他:△				
	言語 知的 情報 技能	運動 技能	態度 意欲	その他		•		目標							
	0 0			7	文字と式を	応用した関	関係式が解け	る							
学習目標	0 0			1	次方程式	を応用した	:関係式が解	ける							
(到達目標)	0 0						問題が解ける)							
	0 0														
	0 0	2 空間図形・立体の応用問題が解ける													
テキスト・教材 参考図書	オリシ	オリジナル演習プリント													
	回数				授業	準項目・内 額	容			授業外学修排					
	1【応	用問	題演	習】	正の数と	負の数			解答出来なか の上再提出す		必ず復習・解答 理解できた				
	2【応	用問	題演	習】	文字と式	加法と減	法、乗法と徐治	去 関係式	かった問題は	質問事項を	記入して担当教				
	3【応	用問	題演	習】	1次方程式	大 係数に		 含む方程式	員に提出する	らこと。					
授業計画	4【応.	用問題	題演	習】 13	欠方程式 「	関係式(容量	量、過不足、速	さに関する式)							
	5【応	用問	題演	習】	比例と反り	北例									
	6【応	用問	題演	習】	平面図形	作図、扇	形の計量、面	積計算							
	7【応	用問	題演	習】	空間図形	体積•表	面積•回転体	 の体積							
	8【応	用問	題演	習】	立体の切	断と体積									
	(1)受課		€∙意	欲(2)課題の	提出 以上	この内容を総合	合的に判断し	R評価(可、7	下可)で判断で	する。				
					-	言語情報	知的技能	運動技能	態度•意欲	その他	評価割合				
	5			•意欲 ————————————————————————————————————		0	0				30%				
評価方法		課題	夏の打	是出		0	0				70%				
屋板 L の注音	600/	ш⊯∹	た逆	ははり	- 久州 L十	·z	<u> </u>								
履修上の注意	00%0	山凊	と甲	고기	5条件とす	る									

科目名	BIM 専攻ⅢA(選択)											
科目名(英)	Е	Buildin	g In	form	ation Mod	eling						
単位数		1	単位		時	時間数 15時間		寺間	担当者		道脇 力	
実施年度		20	20年月	芰	実施	西時期	前	期	担当者実務紹	験		
対象学科·学年	趸	建築工 ⁵	学科	3年	•							
授業概要		ARCHICADのチームワーク操作の習得。 課題の制作を通じた実践的な表現技術の習得。										
授業形式	講	義:		演	習: 0	実習:	実	 技:	※ 主た	る方法:〇	その他:△	
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 運技能 技	動 態度能 意欲	その他			<u></u>	目標				
		0							グを行うことが	できる。		
		0				限題に必要な情報収集を行うことができる。 						
		0			ゾーンツーノ	レを使ってボリュームスタディができる。						
テキスト・教材 参考図書	オ	木造住宅入力ガイド(グラフィソフト提供トレーニングドキュメント) -										
授業計画	回数	授業項目·内容							授業外学修指示			
	1	チーム	ワー	クのホ	既要、モデル	入力「木油	テキストを見て予習を行うこと					
	2	モデル	入力	「木造	৳軸組②」デ−	ータチェッ	前回の復習を行うこと					
	3	課題:	複合は	ヹル「	情報収集」		情報、資料収集を行うこと					
	4	課題:	複合し	ゴル「	エスキス①」		情報、資料収集を行うこと					
	5	課題:	複合b	ヹル「	エスキス②」		情報、資料収集を行うこと					
	6	課題:	複合b	ヹル「	エスキス③」		情報、資料収集を行うこと					
	7	課題:	複合b	ヹル「	 制作①」		情報、資料収集を行うこと					
	8	課題:	複合し	ヹル「	·····································		情報、資料収集を行うこと					
	9											
	10											
	11											
	12											
	13											
	14											
	15											
評価方法	13											
			•	,, -	言	語情報	知的技能	運動技能	態度•意欲	その他	評価割合	
			老表•				0				50%	
			課題技	走出			©				50%	
履修上の注意	 出	出席が6	- <u></u> 60%1:	 こ満た	ない場合は、	 、単位を記	型めない。					